

2024年認定事業主

かぬまそうごしんようきんこ

鹿沼相互信用金庫（鹿沼市）

主たる事業：金融業

労働者：171人（男性85人、女性86人）



行動計画期間

令和3年4月1日～令和6年3月31日

くるみん認定取組内容

- ① 毎月「ノー残業デー」（原則水曜日）の実施について事務連絡を発信し、各営業店に周知。毎月実施報告を求め、ノー残業デーの実施を徹底した。
- ② 年度始めにメモリアル休暇取得予定表の提出を義務付けするとともに、各営業店に取得状況を報告させ、取得状況を検証するなどメモリアル休暇の取得を促進した。
- ③ 子どもの出生時や配偶者の妊娠時に対象男性職員へ個別案内を実施し、子どもの出生時における父親の休暇の取得を促進した。
- ④ 令和5年9月に理事長が「イクボスカぬま宣言」を発表し、育児に積極的に参画できる職場づくりに取り組むとの宣言を行い、令和5年11月に初めて男性の育児休業取得者が出た。計画期間内に更に1名の男性育児休業取得者が出るなど男性の育児休業取得を促進した。

『働くことで成長と幸せを感じられる職場づくりを目指して』

企業のコメント

当金庫は、これまで「女性職員の職域拡大や管理職への登用」「男性職員の配偶者分娩時の特別休暇の取得促進」「育児休業中の職員の職場復帰訓練の実施」「育児短時間勤務の利用対象者を未就学児の子を持つ職員まで拡大」「週1回のノー残業デー」「メモリアル休暇・バースディ休暇・健康促進休暇の取得促進」などを実施し、あらゆる人材（人財）が活躍できるよう、仕事と家庭を両立しやすい職場環境づくりに積極的に取り組んできました。また、令和5年9月には理事長が「イクボスカぬま宣言」を発表し、職員誰もがワークライフバランスとキャリア形成の実現に向けて、会社全体が互いの職務を共通認識し、サポートしあえるような組織づくりに取り組むことを宣言しました。

今後も、働くことで成長と幸せを感じられる職場づくりに積極的に取り組み、さらにはプラチナくるみんの取得を目指して参ります。

男性の育児休業取得者のコメント

私は第2子の誕生に合わせ、約2週間の育児休業を取得しました。取得に際しては職場の上司からの後押しもあり、繁忙期ではあったもののスムーズに休暇に入ることができました。妻の入院期間中には3歳の長女と2人きりの生活でしたが、普段見ることのできない子供の成長を間近に感じる事ができました。また、新生児期に家族と過ごす時間が取れたことは一生の思い出であり、その後の仕事の活力にもなりました。

今回の休暇を通して改めて育児の大変さを実感することができました。今後もより多くの男性職員が本制度を活用してくれることを期待したいです。